

姫城中学校だより

令和7年7月22日 校長 深江 祐史

一学期が終了しました

連日の猛暑で、全国各地で熱中症等の報道がなされる中、お陰様で何とか令和7年度第一学期を終えることができました。体育館が高温であること及び明日以降に県大会等を控えている生徒もいることから、今学期の終業式はオンラインで実施することとなりました。大会に参加する生徒の皆さんは自分に出来る対策を怠ることなく精一杯力を発揮してください。健闘を祈ります。

終業式が行われました。

本日(22日)の終業式では、3名の生徒に「一学期を振り返って」発表をしてもらいました。

1年代表の 福島 湊人 さんは、あっという間の一学期で、委員長としてクラスをまとめることに努力したとのことでした。また①授業中の私語をなくすことができなかった②三分前行動はできたが、二分前着席が十分でなかった点を反省点として挙げました。二学期は、一学期の経験を活かして改善していきたいと抱負を述べました。

2年代表の 井上 琉奈 さんは、良かった点として①積極的に発表できて楽しく授業を受けられた②職場体験学習で礼儀やマナーなど貴重な学びを得ることができたことを上げました。また、反省点は①苦手教科に取り組めなかったこと②気が緩んで注意されることもあったとのこと。二学期へ向けでは、修学旅行等の大きな行事にしっかり取り組みたいとの抱負を述べました。

3年代表の 川畑 乃愛 さんは、まず生徒総会で副議長を務めた際に仲間を支えられて、無事に役目を果たすことができたとの感謝の言葉がありました。反省点としては、テスト勉強において委員会活動や部活動と勉強の両立がうまく出来ない日もあったこと。最後に、二学期は三年生全員が学校を中心だという自覚と誇りを持って行事を成功させ、最高の思い出をつくりたいと強い想いが述べられました。

各学年で、少しずつ違いますが、それぞれが、この一学期をしっかり振り返ることができたようです。その後、私からは、全校生徒に対して以下の話をさせていただきました。

(略)さて、いつもと同じ「自立・感謝・貢献」です。振り返ってみてください。

【自立】振り返って見て、自分一人のできることが何か一つでも増えましたか？ 朝、親に起こされずに自分で起きられるようになりましたか？

自立とは、自分の頭で考え、自分で決めて行動することです。これを失った人には、ある特徴が見られます。それは、なにかうまくいかないことがあると、人や環境のせいにしてしまうのです。

勉強が分からないのは「先生の教え方が悪いから」「塾が悪いから」・・・毎日が楽しくないのは「学校がつまらないから」「親が悪いから」「友だちが嫌だから」・・・今のあなたはどうか。そんな思考に陥っていませんか？

【感謝】いろんな人、いろんなことに感謝してますか？前にも言いましたが、それができている人は、きっと知らないうちに誰かに感謝されています。自分の心の健康を保つためにも「感謝の心をもつ」というのは大変効果があるそうです。

ここで感謝を伝えたいと思います。正門入口から下足室前まで草取り、体育館周辺の掃き掃除など毎朝、奉仕活動をしてくれた生徒の皆さんありがとう、先週からはグラウンドの草抜きをしている人たちもいました。また、放課後、花壇の草取りや整備をしてくれた皆さん本当にありがとう。

生徒会役員の皆さん、朝の挨拶ありがとう。後半は、暑かったですね。でも、みなさんのおかげで、気分良く一日のスタートをきることができた人がいたことを伝えておきます。感謝します。

【貢献】誰かの何かの役に立つ行動がとれましたか？先週末も姫ボラで頑張った人たちもいたね。盆地祭りの灯籠設置ありがとう。また、姫城自治公民館の祭りの会場設営ありがとう。私は、皆さんが設営してくれた会場で祭りに来賓として参加しましたが、地域の方から感謝の声をたくさんいただきました。

なお、みなさんの中には、派手な活動ではないけど、あまり目立たないけど、クラスの係活動などで貢献している人がいるでしょう。大丈夫です。誰かが見ています、気付いています。そういう人は、ぜひ、よいとおもったことは続けてください。続けている内に、周りから信頼されるあなたになっているはずです。

今日は一学期、終業の日です。節目、節目に、自分を振り返ることはとても大切なことです。しっかり振り返って、次の一步を踏み出す、その向かう先を間違えないようにしてください。

最後です。いよいよ長い夏休みに入りますが、特に三年生の皆さんにとっては、これまでの夏とは違いますよね。ぜひ「勉強に燃えた夏」にしてください。毎年、夏休み明け、劇的に変わった中3生をこれまで数多く見てきました。そういう3年生に何かいいアドバイスはないかと思って、先日、本を買いました。「LEARN LIKE A PRO (学び方の学び方)」（バーバラ・オークレイ、オラフ・シーヴェ著 宮本喜一訳 アチーブメント出版株式会社）です。参考になることがいくつも書かれてありましたが、ひとつだけ、みなさんに紹介します。

学習環境を構築するための手法（ポモドーロ・テクニック）

- 1 勉強する場所に腰を下ろし、邪魔になりそうなものを排除する。
- 2 タイマーを25分に設定する。
- 3 設定した25分間、できる限り徹底して勉強に没入する。
- 4 ポモドーロの時間が終わったら約5分間の褒美の時間をとる。
- 5 1～4を忠実に繰り返す。

この本では、脳科学の根拠に基づくものとして「勉強に集中したいときは、スマートフォンを別の部屋に置いた方がよい」とっています。「よーし、勉強！ スマホは絶対に触らないぞ！」と心の中

でいくら叫んでも、悲しいかな人間の意志というのは習慣には勝てないことがあり、数分間後に気付いたらスマホを触っている自分がいる・・・なんてこともあるのではないのでしょうか。

勉強に燃える夏にしたい人、スマホとのつきあい方で悩んでいる人は、ぜひ参考にしてください。

それでは、生徒の皆さん一学期、本当によく頑張りました。新学期に、また一つ成長した皆さんと出会えることを楽しみにしています。保護者の皆様、一学期、大変お世話になりました。しばらくの間、子どもたちを家庭・地域にお返しますが、どうぞよろしくお願いいたします。